

# 役場職員に聞く

vol.5

育てたい 暮らしたい 帰りたい

## 『みんなで未来へ駆けけるまち』の実現に向けて

政策推進課政策推進グループ

取材：地域おこし協力隊 木下知佳

安平町が行っている事業や政策など、町民の皆さんが利用することの多い場所や取り組みについてご紹介します。今回は、施策の調整や総合計画の策定等を主に担当する政策推進課政策推進グループの笹山さんに話を聞きました。



こちらに  
聞きました

笹山 陽平さん

苫小牧市生まれ。2012年に安平町役場へ。税務課に所属し、2016年から現在の政策推進課政策推進グループに。

の5か年計画)を策定、基本目標の設定や重点施策分野の整理、前年度までの計画を踏まえ、各課の施策の取りまとめや人口ビジョンの推計を基に分析等の見直しを行いました。



「第2期安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の詳細はQRコードからご確認ください。

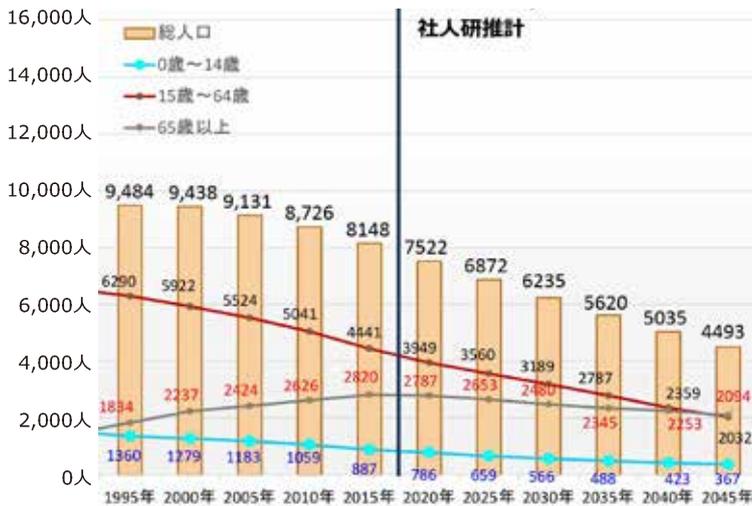
### 町の施策・事業をまとめる仕事

政策推進グループでは各課が行う施策・事業の取りまとめや調整、総合計画の策定、移住定住支援、企業誘致等を行っています。

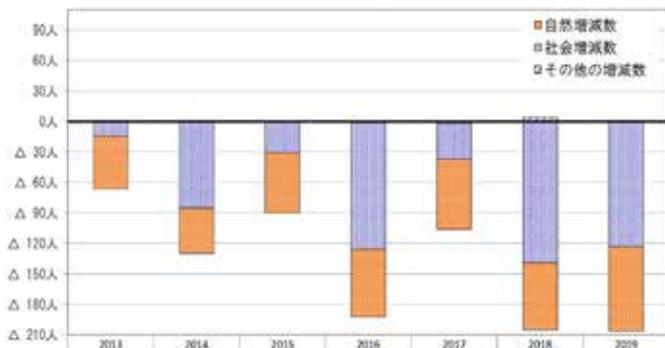
私はまちの指針となる総合計画の進捗管理や国の地方創生関連交付金の業務を主に担当。昨年12月に「第2期安平町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和3年度から

### 人口ビジョンから見る減少の予測

人口ビジョンとは、過去と現在のデータから今後の人口変化を予測するもの。国立社会保険・人口問題研究所(社人研)のデータ(左上グラフ参照)では、2015年に8,148人だった町の総人口が2045年には4,493人と大幅な減少となる推計で、強い危機感を持っています。町では、少子高齢化による



【安平町の総人口の推移と将来推計 (1995年～2045年)】 出典：国勢調査



【安平町の自然増減・社会増減比較表】

取り組んでいきます。町に来て良かった」と思ってもらえるように。移住者に「安平町に来て良かった」と思ってもらえるように取り組んでいきます。

自然減少(出生者数-死亡者数)と震災以降の社会減少(転入者数-転出者数)の増加が深刻になっています(左下グラフ参照)。社会減少(転入者数-転出者数)は努力次第で減少を食い止めることができるため、町の指針である『子どもにやさしいまちづくり』をアピールし、移住定住に結びつけていきたいです。

### 人口減少を食い止める、増加に転じるために

庁内のシティブロモーションプロジェクトに参加し、より移住定住に結びつけるためにはどうすればいいのかなど定期的に話し合っています。そこでは「まず町民の方に安平町に住んで良かったと思ってもらい、その良さを移住定住につなげて行くことが大事」という意見がありました。令和5年春に開校予定の早来小学校・早来中学校の施設一体型校舎は、子育て世代へのアピールポイントだと思っています。「子どもをこの学校に通わせたい」「町の教育を受けさせたい」と思ってもらえるよう、移住希望の方に町の子育てや教育環境の魅力をしっかり伝える役目を担っているのが政策推進グループです。移住者に「安平町に来て良かった」と思ってもらえるように取り組んでいきます。